

市道末広町線整備完了に伴うアンケート結果 【詳細版】

1. 実施目的

市道末広町線の整備完了に伴い、商店街および沿線の住民を対象に、本事業で行った5つの取り組みや事業全体に対する評価、さらに今後の無電柱化の推進や末広町の賑わいづくりに対する意向等を把握するため実施したものの

2. アンケート概要

(1) 実施概要

項目	内容
実施期間	令和7年7月1日～7月31日
配布数	97部 (内訳) 末広町商店街振興組合及び末広町自治会：80部 大通り一丁目商店会：12部 大通一丁目第一町内会：5部
回答方法	WEBフォームまたは紙アンケート
回答数	計30件(回収率31%) (WEB)：12件，(紙)：18件

(2) 回答者の構成

区分	件数
男	15件
女	15件
計	30件

年齢層	件数
20代以下	2件
30～40代	6件
50～60代	14件
70～80代	7件
90代以上	1件
計	30件

3. 評価項目

- I. 5つの取り組みについて……………P. 2
- II. 無電柱化の推進について……………P. 10
- III. 工事に対する意見感想……………P. 11

4. これからの末広町通りと賑わいづくりに向けて

- IV. 末広町通りまたは周辺において、市が整備を進めてほしいこと……P. 14
- V. 賑わいづくりに関する意見・要望・提案……………P. 15

I. 5つの取り組みについて

■評価結果

項目	よかった	普通	よくなかった
取り組み① 終日一方通行化	<u>77%</u>	17%	6%
取り組み② 車道スラローム化	<u>67%</u>	27%	6%
取り組み③ 無電柱化	<u>84%</u>	13%	3%
取り組み④ 道路美装化	<u>74%</u>	20%	6%
取り組み⑤ 街灯の新設	<u>67%</u>	30%	3%
事業全体	<u>79%</u>	13%	8%

■評価概要

① 終日一方通行化（77%が「よかった」）

市民の約 8 割がこの施策を「よかった」と評価しており、特に通学路や生活道路における交通の安全性向上が高く評価されたと考えられる。車両の流れが一方向になることで見通しが良くなり、歩行者や自転車利用者にとって安心感が増したことが、満足度の高さにつながったと思われる。一方で、「普通」や「よくなかった」と答えた人からは、回りの道の増加や利便性の低下に関する懸念があった可能性もある。

② 車道スラローム化（67%が「よかった」、27%が「普通」）

「よかった」が過半数を超えたものの、「普通」が27%と高めで、他の取り組みに比べて評価がやや分かれた。スラローム化により、車のスピードを抑える交通安全対策としての効果は一定の理解を得ていると考えられるが、運転しづらい、通行しにくい、物流や高齢者の移動に影響が出たなどの声も一部にあったと推察される。

③ 無電柱化（84%が「よかった」、3%が「よくなかった」）

最も高い評価を得た取り組みで、「よかった」が84%、よくなかったはわずか3%と圧倒的な支持を受けた。電柱の撤去により、街並みの美観が大幅に向上したことや、災害時の倒壊リスクが減ることに対する安心感が、評価の背景にあ

ると考えられる。景観整備と防災性の両面で、市民が効果を実感しやすい取り組みだったといえる。

④ 道路美装化（74%が「よかった」）

道路の舗装材やデザインの統一によって、街の印象や歩行環境が改善されたことが評価され、「よかった」が74%に達した。特に、観光客や来訪者への印象アップ、地域の魅力向上にもつながったと考えられる。ただし、「普通」「よくなかった」合わせて26%の人からは、工事期間中の不便さや費用対効果への疑問があった可能性もある。

⑤ 街灯の新設（67%が「よかった」、30%が「普通」）

防犯対策や夜間の安全性向上に寄与した施策であり、「よかった」が67%と一定の評価を得ている。ただし「普通」が30%と高めである点から、街灯の設置場所や明るさ、デザインなどに関して満足度にばらつきがあったことがうかがえる。住民ごとに感じ方が異なるため、今後の街灯設置においては地域ニーズを丁寧に把握し、より効果的な設置が求められる。

事業全体（79%が「よかった」）

本事業全体に対しては、「よかった」とする回答が79%と非常に高く、多くの市民が事業の効果を実感していることが分かった。安全性や景観の改善、歩きやすさの向上といった変化が肯定的に受け止められたと考えられる。「普通」（13%）や「よくなかった」（8%）の意見もあることから、すべての施策が一律に評価されているわけではないものの、総合的には市民満足度の高い事業だったと評価できる。

■まとめ

全体として、本事業は市民の声を反映した実効性のある取り組みが実施され、多くの項目で高い評価を得る結果となった。

特に「無電柱化」は、景観の向上と防災性の強化という両面で市民の満足度が非常に高かったことは、無電柱化が市民生活の質の向上に寄与する有効な手段であることを示している。

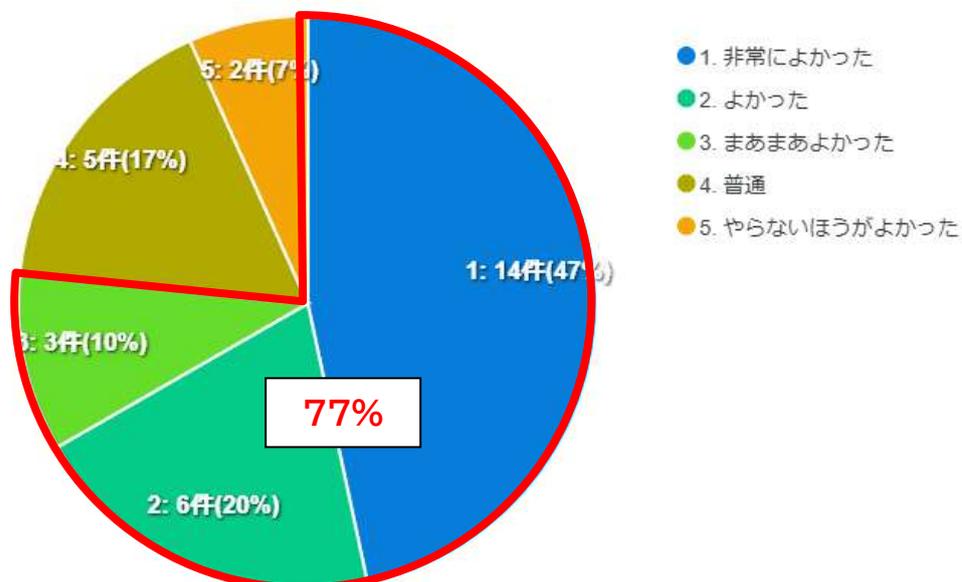
一方で、「車道スラローム化」や「街灯の新設」については、評価にばらつきが見られ、必ずしも全ての市民に効果が伝わっていない側面も明らかになった。

今後は、評価の高い取り組みを都市整備に活かす一方で、効果が伝わりにくかった施策については説明や設計の工夫を行い、市民満足度のさらなる向上を図ることが求められる。

(参考) 各評価の詳細

取り組み①終日一方通行化による車道の制限と歩行空間の確保

■取り組みについて



- 実施してよかった (77%)
- 普通 (17%)
- やらない方がよかった (6%)

(やらない方がよかった理由)

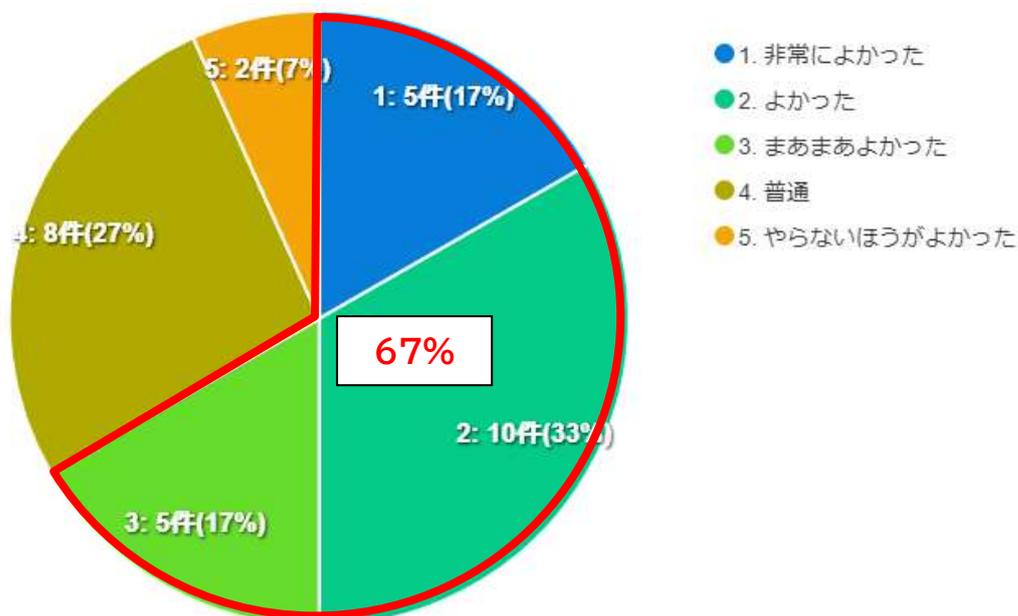
- ・道路を直したことはいいことですが、それよりも市街を(店)などを作り、人が歩くことが市内を栄えさせると思います。
- ・特に変わらない。夜間も人はいない。

■意見・感想

- 万一、他県ナンバーの車両が侵入した場合、警察の方が注意勧告してあげてほしい
- 大変立派になったが、処々凹凸が(歩行部分)気になる。砂がだいぶ残っているところがある
- 安全に歩ける印象です。
- 歩行者天国などの際に歩くスペースが広がってよかった
- 【歩行者として】歩道が広くなったことによってゆったり歩けるようになった反面、自動車が近くを走るので怖く感じる。【自動車の運転者として】車道が狭い。歩行者が近くを歩くので危険に感じる。また、自転車はどこを走るか明確でないため、危険を感じる事が頻繁にある。

取り組み②車道のスラローム化による走行速度抑制

■取り組みについて



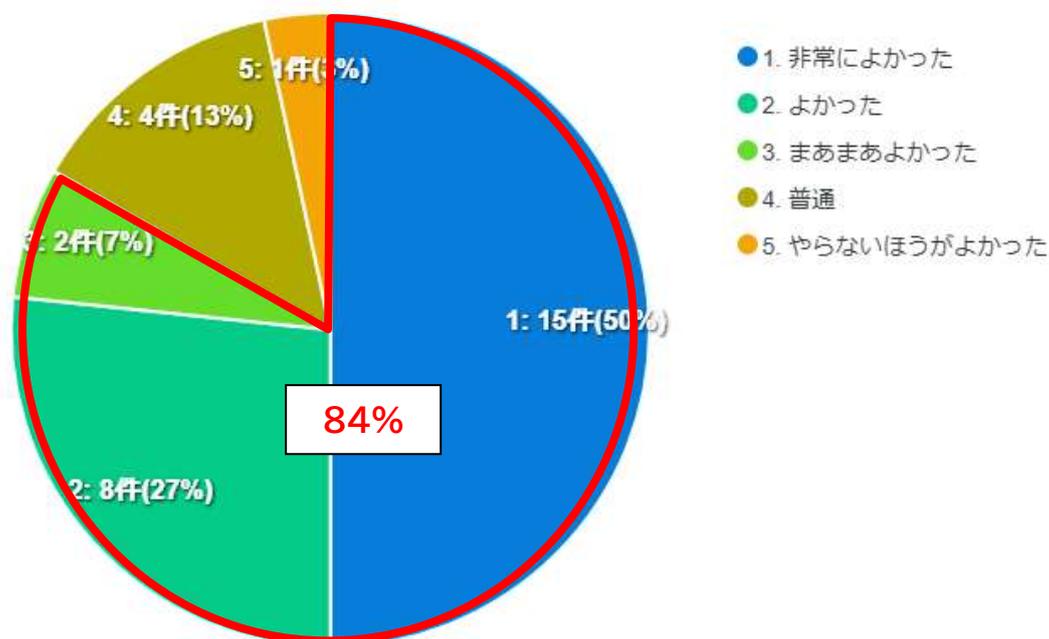
- 実施してよかった（67%）
- 普通（27%）
- やらない方がよかった（6%）
（やらない方がよかった理由）
 - ・通る車の台数は、変わらない。
 - ・ハンドルの小刻みな動きがあり、運転しづらい。冬は特に危険。

■意見・感想

- 道路の向こう側へ渡る人の優先
- スラロームラインが不ぞろいなのでは
- 自分が運転してスピードは低下したが、ほかの車をみるとあまり低下していない車もあるような気がする。
- スラローム化よりも道路が広くなったことにより、精神的にゆったり走るようになった。
- 安心して歩くことが出来ているのでこの取り組みを実施して良かったと思います。
- 事故が起きないうちに改善した方がよいと思う。
- スラロームは良いのですが、交差点のポールが、運転する際曲がりづらい位置にあるため困ります。

取り組み③無電柱化による安全安心な通行空間の確保

■取り組みについて



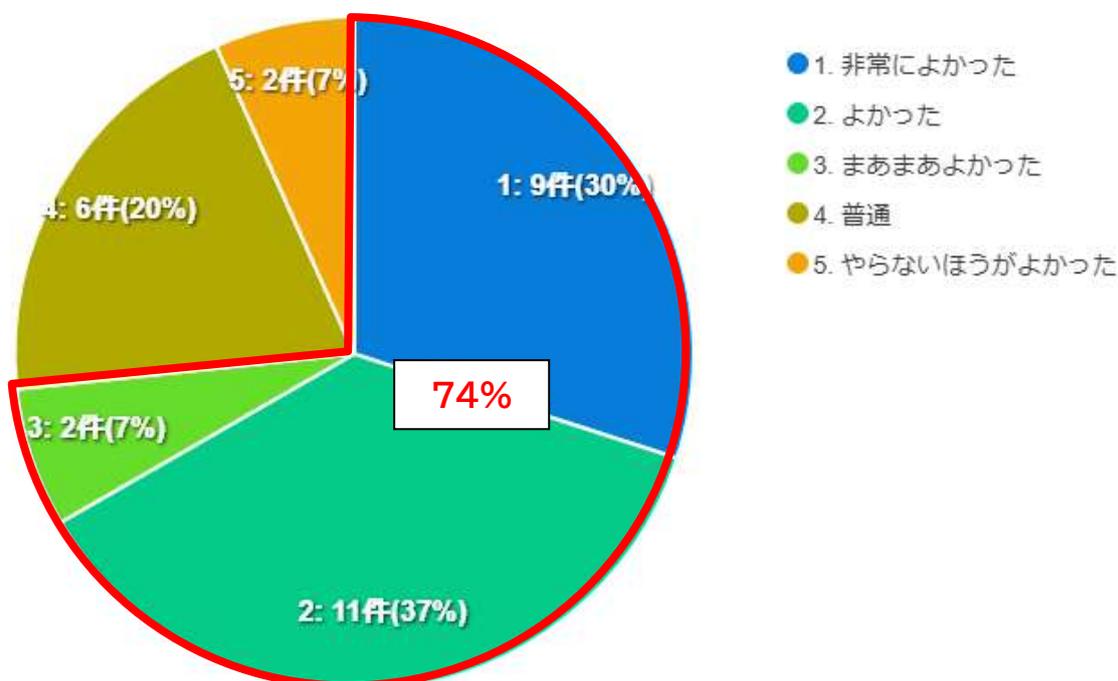
- 実施してよかった（84%）
- 普通（13%）
- やらない方がよかった（3%）
（やらない方がよかった理由）
 - ・電線を地中化しただけで十分

■意見・感想

- 交差点にあるポールの位置の改善を求める
- 曲がるときにかなり注意が必要
- 信号待ちの時の人のいる場所の安全性も確認してほしい
- 電柱がないが、街灯が増えた。多すぎるような気がする
- 空が広くなり開放感がある。中央通りも無電柱化するとより開放感があると思う。電柱・電線の無い空間が連続するのは開放感があり良い。
- 電柱がなくなったことにより、電柱に対する注意が必要なくなったので良かったと思います。
- 工事に支障がなければ、他の地区でも行ってほしい。
- 以前は路上駐車と電柱の間をすり抜けなければ通れない事も多く、だいぶ歩きやすくなりました。子供達が歩く時も走行車との間に余裕があるので、安心できます。

取り組み④道路美装化による道路景観の向上

■取り組みについて



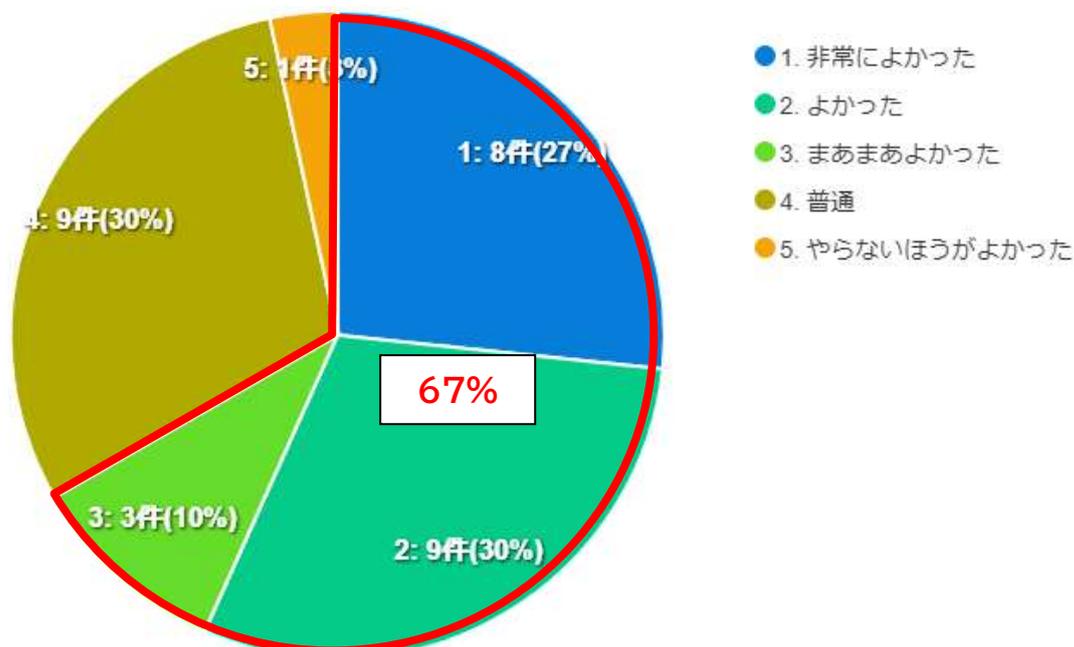
- 実施してよかった（74%）
- 普通（20%）
- やらない方がよかった（6%）
（やらない方がよかった理由）
 - ・ますます店がなくなった。タイミングが悪すぎる。
 - ・タイルがボコボコ、つまづく、目地の砂が店に入る

■意見・感想

- 身障者用の歩行ブロック（黄）が棒状の型で歩く方向に平行で足をくじきそうになる。棒状ではなく丸型のほうがよかったかもしれない
- 道路の歩道がへこんでいたりして歩いて引かかる気がする。へこんでいたら歩きにくいです
- 歩道はデコボコで歩きづらい、自転車は尚更、実際に歩いてみてください
- ブロックが一部キズがついている
- 歩行者のブロックが少力でこぼこがあるような気がする。
- バリアフリーで安心して歩ける。

取り組み⑤街灯の新設による夜間の道路環境の向上と多目的な利活用

■取り組みについて



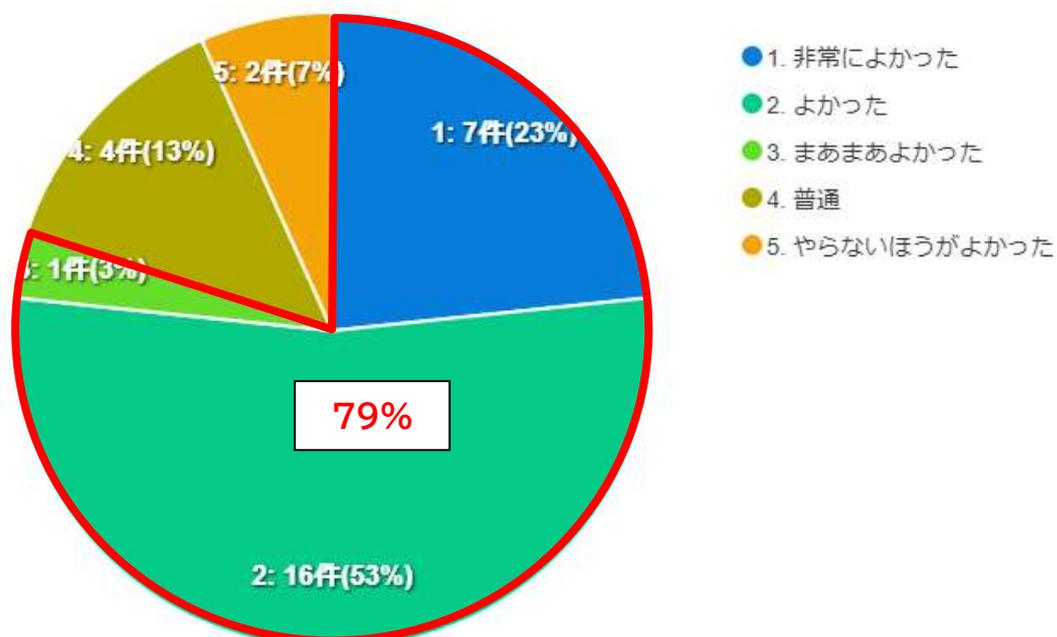
- ・ 実施してよかった (67%)
- ・ 普通 (30%)
- ・ やらない方がよかった (3%)
(やらない方がよかった理由)
 - ・ 夜間明るすぎて眠れない。5メートルおきなんて、いらない。

■意見・感想

- ・ 街灯が歩行空間に出ていて歩行の妨げになる。街灯の立っているところの身障者用歩行ブロックが街灯を避けて埋め込んである。身障者の方が避けて歩くことになる。街灯が歩行を妨げている
- ・ 夜、外出することがないので、良し悪しの判断ができません
- ・ 街灯をもう少し店舗側に設置すれば、視覚障がい者用のイエローラインを直線にできたのではないのでしょうか
- ・ 末広町を駅前交差点から見ると通りが明るく見えてきれいだ
- ・ やたらと明るいと思ったら、街灯がいっぱいあって、びっくりした
- ・ 夜は通ることがほとんどないのでわからない。

事業全体を通じて

■事業を行ってよかったか



- 実施してよかった (79%)
- 普通 (13%)
- やらない方がよかった (8%)
(やらない方がよかった理由)
 - ・シャッター通りに、こんな綺麗な道路はいらない。そのお金をキャトルに回せば良かった。
 - ・売上減少

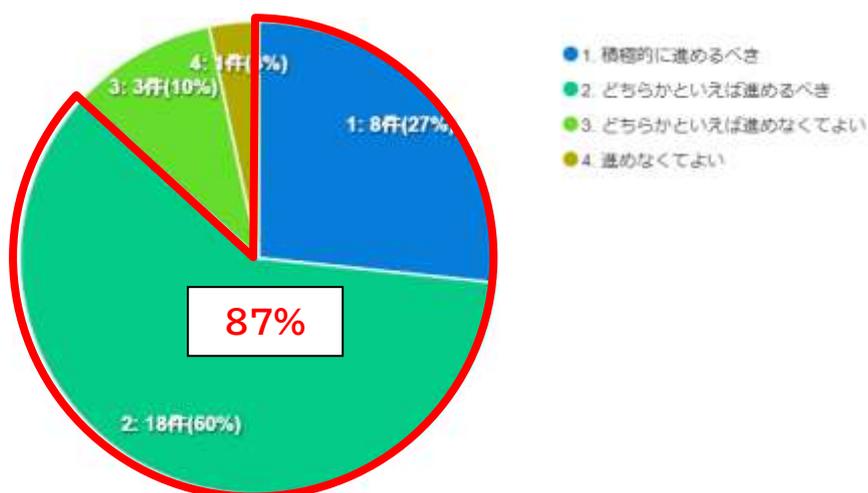
■よかった点 (複数選択可)

- 歩行空間が拡がり歩きやすくなった (75%)
- 車のスピードが低下し歩行者が危険を感じなくなった (42%)
- 電柱や電線が無くなり、歩きやすく、道路や空が広く明るく感じた (71%)
- 路面がきれいになり通りの雰囲気よくなった (63%)
- 街灯が新しくなり照明も明るく感じた (50%)

II. 無電柱化の推進について

■無電柱化の推進についてどう思いますか

進めるべき	進めなくてよい
87%	13%



○進めるべきとする理由

- 自然災害時に電柱倒壊や電線破断による被害を防ぐため (69%)
- 街の景観向上のため (58%)
- 歩行者やベビーカー・車いす利用者の安全性・快適性向上のため (69%)
- その他 (0%)

×進めなくてよいとする理由

- 工事による日常生活への影響 (75%)
- 工事中の騒音、振動、土ほこり (75%)
- 電線や電柱があっても景観が悪いと感じない (50%)
- 歩行の際に電柱を支障に感じない (50%)
- その他 (0%)

■まとめ

市民の 87%が無電柱化を支持しており、防災面（電柱倒壊の防止）や歩行者の安全性、景観向上などが主な理由。

一方、反対意見（13%）では、工事による生活への影響や騒音・振動などが懸念されている。

宮古市無電柱化推進計画に基づき整備を進めつつ、生活影響への配慮や丁寧な情報提供を行うことが重要。

Ⅲ. 工事に対する意見感想

■意見感想の整理

○良かった点（評価された点）	×課題・不満点
<p>(1) 夜間工事への感謝・労い</p> <ul style="list-style-type: none">・「寒い冬の夜間工事、ご苦労様でした」といった感謝の声が複数あり、住民は工事の大変さを理解している様子。・配慮が行き届いていたという評価・一部では「いろいろな点で配慮が行き届いていた」との声もあり、対応が・良好だった業者も存在。	<p>(1) 工期・スケジュール関連</p> <ul style="list-style-type: none">・工期の延長・遅れ：予定より大幅に遅れたことへの不満が多数。・スケジュール配布の差：業者間で事前周知に差があり、住民への配慮にバラつき。・市のイベントを優先して工事休止が長期間に及んだことに対する批判。 <p>(2) 騒音・夜間工事のストレス</p> <ul style="list-style-type: none">・夜間工事の騒音で睡眠妨害などの被害があった。・「タイル張りの後にタバコの吸い殻が排水溝に捨てられていた」など、作業員のマナー問題も指摘。 <p>(3) 施工・現場管理の問題</p> <ul style="list-style-type: none">・複数回の掘り返し・再工事：同じ場所での工事を何度も繰り返したことで住民が疲弊。・埋め戻しの不備や鋼板の設置ミス（水道工事）でケガ人が出たとの報告。・業者間の連携不足や市担当者の見回りの少なさも不満点に。 <p>(4) 商業活動・地域経済への影響</p> <ul style="list-style-type: none">・「開店休業状態が続いた」「営業に多大な影響」との声。・駅前・末広町などで人流が減少したと感じた住民も。

■今後に向けた改善提案

①工期とスケジュール管理の徹底

- ・事前の周知とスケジュール配布を全業者で統一。
- ・イベント等の影響を見越した工期設定とリスク管理。

②業者の統一的なマナー教育と指導

- ・吸い殻放置などのモラル違反は厳しく対応。
- ・夜間工事でのマナー向上・作業後の清掃の徹底。

③現場管理と市の関与の強化

- ・市職員による現場巡回・点検の頻度を増やす。
- ・工事の進捗状況を市民に可視化し、信頼性を向上。

④一括施工の検討

- ・「全面通行止めにして一気にやった方が良かった」という意見を踏まえ、効率と負担のバランスを検討。

⑤地元経済への配慮

- ・長期工事が地域店舗へ与える影響を最小限にする計画。
- ・工事による影響を鑑み、事業損失調査の実施は必須。

■まとめ

市民は工事の必要性を理解しつつも、「説明不足」「マナーの悪さ」「スケジュール管理の甘さ」「地域経済への影響」など、さまざまな点で不満やストレスを感じていた。今後の工事では、「丁寧な説明・統一された対応・確実な工程管理」を軸に、地域に寄り添った進め方が求められる。

■参考（原文）

- 冬の夜、寒い時期の工事は大変だったと思います。ご苦労様でした。
- 夜間の工事で、作業に関係した方は本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。騒音には少々悩まされました。
- 夜中の工事は大変だと思います。特に寒い中ご苦労様でした。
- 何度か下水工事のように水があふれたりして近くの人たちが迷惑したりして工事のたびに夜などうるさすぎた。
- 業者が多く、それぞれの対応が一致しておらず、業者間の連携不備と思われる工事であった。工事中、担当者の見回りが少なかったと思う。
- いろいろな点で配慮が行き届いていた
- こまかく工事スケジュールを配る業者とそうでない業者もいた。
- 市のイベントを優先し工事の休止期間があまりにも長かったと感じる。工事の完了が当初の予定より大幅に遅れたことは非常に不満が残る。またタイル張り夜間工事の後、タバコの吸い殻が排水溝に大量に捨てられている事も何度かあり、その施工業者のマナーは不快に感じた。
- 夜間工事により、工事工期の延長などがあり長すぎた 全面通行止めにして一気にやった方が良かったかも
- 水道工事の埋め戻し後、鋼板の戻しが適当で落とし穴状態になりケガをする方が多かった。
- 警備員が客を追い払う。同じところを何回も掘り起こし一週間以上開店休業状態が何度かあった。店側の都合で工事日程が変わり工事が飛び飛びではかどらず営業に多大な影響がでた
- 道路がボコボコだった。車高の低い車は通れなかったのでは？
- 工期が長すぎて末広町から人が離れたように感じる。駅前の工事は何度も掘り返したり埋めたり、同じ場所での工事が長すぎた。
- 工事の作業と市の対応
- 事業は行ってよかったが、いろいろなことが起こりタイミング的に厳しかったかも。

IV. 末広町通りまたは周辺において、市が整備を進めてほしいこと

■要望の整理

項目	内容
安全で快適な歩行環境の整備	・通学・通勤に利用される歩道の整備は、市と県が連携し、広域的かつ計画的に進めてほしい
水害・排水対策の強化	・山口川や排水設備の整備により、大雨時の氾濫防止や水はけの改善を図ってほしい
空き店舗対策とにぎわい創出	・空き店舗の解消に向けた支援や誘致策を進め、人通りを取り戻す施策を期待 ・商店街組合との連携やイベント開催など、人が集まる取り組みを継続・強化してほしい
迅速な対応と実行力	・各課題に対して、スピード感を持った対応と継続的な取り組みをお願いしたい

■まとめ

関係機関と調整を図りながら、安全な歩道整備や排水対策を計画的に進めるとともに、空き店舗の解消や人が集まる施設・イベントの開催を通じて商店街の活性化を図り、地域課題にはスピード感を持って対応していくことが求められている。

■参考（原文）

- ・道路を直す前の横断歩道を同じ場所より移動したりその横にポール置いています。歩道を歩く時に正直邪魔です。
- ・豪雨の際の水はけは改良されているのか。地区の泥上げが出来なくなったが、毎年市で取り組んでいただけなのか。
- ・末広町、中央通商店街振興組合との共同の取り組み
- ・裏の山口川の整備。大雨時氾濫しないようにしてもらいたい。
- ・他人任せですが平日に人が通る施設、店舗が欲しい。今の末広町では絶対できない。空き店舗が多いので寂しく対策が必要だと感じます。
- ・空き店舗を解消し、人通りが戻るような施策を期待したい。
- ・人が集まるイベントを開催して欲しい。夏まつりではたくさんの方がいた。
- ・スピード感を持って取り組んでほしい
- ・山口川（裏の川の整備）と水の流れ（排水）をよくしてほしい。
- ・安全で快適な歩道環境の実現のため、市だけでなく県とも連携し、広域的かつ計画的な整備を進めてほしい。

V. 賑わいづくりについての意見・要望・提案

■意見等の整理

項目	意見・要望・提案
1. 空き店舗対策と店舗誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前から末広町にかけて空き店舗が増え、商店街の活気が失われているとの声が多く、積極的な対策が必要。 ・補助金の活用や若者・県外市外からの出店支援、飲食店・喫茶店・軽食店など多様な店舗の誘致を期待。 ・特に高齢者や車を使わない方が不便を感じており、日常の買い物ができる店舗の復活が望まれている。
2. イベント開催の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の夏まつりや七夕まつりのような思い出に残るイベントがにぎわいを生んでいたとの声があり、今後も継続的な開催を求める意見が多数。 ・広くなった通り空間を活かし、市内外から人が集まる企画の実施が期待されている。 ・一方で、イベントだけでなく日常的なにぎわいづくりが課題との指摘もあり、継続性ある施策が必要。
3. 駐車場の整備と買い物環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・車での来街を前提とした駐車場整備を求める声が多い。駐車場がなければ客足は戻らないとの意見も。 ・車社会に対応した商業環境づくりが求められている。車での来街を前提とした駐車場整備を求める声が多い。
4. 行政・地域の役割と姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員自身が地域で消費することで、率先した地域経済への貢献を見せてほしいという提案も。 ・商店街や市と連携した継続的な支援体制の構築が重要。
5. まちの将来像への期待と不安	<ul style="list-style-type: none"> ・工事は終わったが「道路は良くなったが、にぎわいは戻っていない」との実感が広がっている。 ・一方で、「人が集まる魅力があれば、にぎわいは戻る」という前向きな意見もあり、取り組み次第で可能性は十分あるといえる。

■まとめ

末広町線の再整備をきっかけに、にぎわいの再生を望む声が多く寄せられた。空き店舗対策や駐車場整備、イベント開催、地域経済の循環など、日常のかつ持続可能なにぎわいづくりへの取り組みが強く求められている。

市・商店街・地域住民が連携し、「にぎわいのあるまち・歩きたくなるまち」を目指した具体的かつ迅速な施策の実行を期待している。

■参考（原文）

- 工事中にお客様が来なくなり終了して戻ってきているか心配ですね。リラパークこなり、高京、ヤギのパン、寿司海道、信金駅前支店等店がしまって寂しいですね。カムバック末広町を願うばかりです。
- 車で買い物ができるように、駐車場があれば良いと思います。
- 末広町（30年代）七夕まつりの賑わいは忘れられません。40年代、夏まつり神輿もでて大変盛り上がりました。S49年の火事は怖かったですね。
- 昔のように末広町あたりには店が欲しいです。車がない人たちは買い物に不自由しています。
- 駅前キャトルから末広町の空き店舗対策を講じてほしい。
- 集客力の大きい店舗が出来るといいなと願ってます
- 固定資産税を下げてください。賑わう事なんか、どうでもいいです。お祭りもよそでやってください。
- 近隣住民のみならず市内外の方々にも末広町通りの広がった空間を活用したイベントを開催して欲しい
- コロナからのキャトル閉店 道路工事などで客の足取りが変わって 工事完了しても 人があまり以前より歩いて無い感じがする
- 先日の夏祭りなど、とても活気がありました。楽しめる魅力があれば人は集まるのだと分かったので、大変だとは思いますが、今後もイベントなど開いていただきたいです。
- 駐車場が整備されない限り、人通りは戻りにくいと思う。いっそのこと、思い切って高齢者向けの店舗や企画（ノスタルジー、昭和）を検討してもよいのではないか。
- アンケートが長い！
- 空き店舗を積極的に活用してはどうか。駅前の空き店舗に喫茶店を入れて欲しい。2階のオープンスペースでビアガーデンはどうでしょうか？
- 市の職員の方々がネットショッピングや他地域での買い物の一部を末広町に向けて頂ければ良いと思う。率先して我が町宮古にお金を落とすことをやって市民にみせてほしい。軽食のお店等、ワンコインショップ、小物増えたら賑わうと思う。
- 売り出しとかぼつきり市の時は人通りはありますが、普段は少々人通りが少ないです。
- 道路は良くなったが町のにぎわいが無いと言われます。
- 空き店舗の利用者に補助金（県外、市外の若者）